

# 報告事項 No. 1

## 会 議 錄

会議の名称	令和5年度第2回守谷市地域自立支援協議会	
開催日時	令和5年7月14日（金） 開会：16時00分 閉会：17時00分	
開催場所	守谷市役所 大会議室	
所管課	健幸福祉部 社会福祉課	
出席者	委員	新田委員、稻田委員、石福委員、上野委員、河井委員、清水委員、高橋委員、小野寺委員、酒井委員、横田委員、染谷委員 計11名
	事務局	羽田課長、横山係長 計2名

## 審 議 経 過

### 1 開会

### 2 議題

#### ○協議事項

##### （1）守谷市障がい者アンケート調査報告書について

・第1回会議にてアンケート調査報告書の質疑時間が十分に取れなかつたことから、質疑・意見を事前に取りまとめ市の回答を示させていただいた上で、あらためて意見を伺つた。

#### 【主な意見等】

（委員）アンケート結果自体は公表されないのか。

（事務局）計画作成の資料としてまとめていたが、ホームページ上で示すことは可能と考えている。

（委員）回答者にとっては自身の意見がどうなつてどう施策に反映されるのか見えるとうれしいと思う。

（委員）せっかく答えてくれているのに示さないともう答えたくないという人もいる。

（事務局）アンケートでの意見は生の声だと思う。プライベート部分は出せないところはあるが、こういうものがこう反映されるということを見せるよういただいた御意見を参考にさせていただく。

（委員）学校に入る前に普通学級または支援学級、支援学校に行く選択肢があると思う。生まれた子が発達障がいなのかどうかをどの時点で判定されるのか分からず、そういうことを全然知らなかつたという意見があつた。

普通学級に行って学校が嫌になってしまった子について、支援学級、支援学校に行かせていればよかったという意見もあった。そういうところは学校とかと相談して決まるものだと思っていたので驚いた。

(委員) 進学の際に教育委員会等と会議の場で決めていくと思うが、お子さんによつては知的の程度から判断しづらい子もいて、小学校に上がってから分かる子も多い。

(委員) 保健センターでは、各健診時に体の発達のみではなく心理面、精神面、情緒面、知的の発達発育を保健師と医師で見ていく。その際、「少し発達がゆるやかだな」と思われたら、保護者から相談のニーズを引き出し、その後の相談につなげる。

また、お母さんから「この子気になる」と相談があり発達相談として受けている。

親御さんによっては発達の気になる点を受け入れがたい方もいる。

個人差があるところ。ゆっくりの成長の子か、発達に問題があるのか、定期的に継続的に見て対応したりする。

保健センターの健診はほとんどの子が通るところだが、もしかしたらその際にやんわりと保健師が説明したことが伝わらず、「そういうことは知らなかつた」となってしまったことはあるかもしれない。

(委員) 放課後等デイサービス断られた、金額が高いとあった。利用する基準はあるのか。

(委員) 放課後等デイサービス市内に10か所くらいあるが、事業所によって特性が違うことがある。いくつかの事業所でジャストフィットする場所があるのでは。

(事務局) 利用者負担は基本的に世帯所得に応じた負担になっている。

(委員) 事業所利用者から市の健診について他の健常者に遠慮してしまいなかなか行きづらく健診を受けられないとの相談があった。皆さんのがいるところだと騒いでしまうので行きづらいなど。

合理的配慮の観点から、騒いでも大丈夫な時間帯を作つてもらうなど障がい者の枠を取るなどの対応をしてもらえば。コロナワクチン接種のときには対応いただいたようだ。

(委員) 集団健診は今予約制でやっている。そうした意見について、こういう配慮があればという具体的なところをどこまで反映できるか。基本一人で回つていただいている。

(事務局) コロナワクチン接種の事例もあるので、保健センター、社会福祉課で考えて、保護者等関係者の意見も聞いていけば、そうした対応の一つの形ができるかもしれない。各健診項目について今どうやっているかを整理し、医師会と具体的な話をする必要性もあると思う。

(委員) 検討いただきたい。